



発行所
カトリック福江教会
広報委員会
五島市末広町3-6
☎0959(72)3957
●ホームページ●
<http://fukuechurch.jimdo.com>

新しくありたい

主任司祭 中村 満

新年おめでとうございます。小教区報は本号が新年号になりますので、遅ればせながら新年のご挨拶を申し上げます。同時に、今年が恵み多き良き年でありますようにと祈念いたします。

昨秋末には米国の大統領選挙が行われ、大方の予想を覆しトランプ氏が出された。大統領就任後もデモが行われ、分断された米国の社会は風雲急を告げている。大統領令の発布により様々な混乱が生じているが、振り回される一年になったとしても何処かで抗争や紛争に発展しないようにと願っている。隣国の大統領は不祥事を発端に任期途中で職務停止に追い込まれたが、今年中には新大統領が誕生しているかもしれない。中国の海洋進出も急速に行われている。激動の時代は言い過ぎだろ

うが、その匂いがする時が訪れたのは確かと言えよう。大戦の記憶が消えゆく中で平和希求の動きだけは止まってほしくない。

年明け早々の1月15日には下五島地区合同堅信式が行われ、21名の受堅者が誕生した。福江教会は12名の受堅者。他の教会には数名の受堅者しかいない状況。未来が暗示されているが、それへの対策はまだ見出されていないのが現状と言える。悶々として考えているが、凡人には無理なようだ。受堅者が聖霊の息吹に満たされ、福音の証人、未来の教会の担い手になつてくれることを心から願っている。今年の一つの希望は、高山右近が福者に列せられることである。2月7日(火)に大阪城ホールで列福式が行われる。ようやく入場整理券が届いたが、式に与かりながら日本の教会、長崎の教会のために取り次ぎを祈りたいと思っている。右近についてはまだまだ勉強不足であるが、戦国期をキリスト者として生き抜い

たその信仰、その霊性には学ぶことが多いと言える。マニラ到着後40日ほどで熱病にかかり1615年2月3日に帰天するが、その葬儀はマニラ市によって盛大に行われたという。乱世にある信仰者としてのその生き様は往時の人々にだけでなく、今日の私たちにも輝きを放っていると言えよう。

徒然なるままに

助任司祭 小島 明

リオジャネイロオリンピックやマネットラブルなどで「金」となぞらえた2016年が去り、力強く羽ばたくように願う2017年が始まりました。さまざまな出来事が今年も起こっていくことでしょう。その出来事が良いものであろうとも、悪いものであろうとも、そこからいろいろなことを学ぶことを大切にしていきたいと思う今日この頃です。

さて、今回は徒然なるままに最近思っていることを書いてみたいと思います。今年が始まって2ヶ月弱となりますが、早くも世界情勢は大きく変わろうとしている様子を感じます。それは、アメリカ大統領が変わってしまつてから始まります。日本との関わり

りから言ってみれば、今まで「親日」「平和」という路線を礎にしてきたといつてもいいオバマ大統領。そこから「対等」「バランス(これは正義を守るためには強硬もいとわないという均衡をとるという意味)」「ヘシフトしようとするトランプ大統領。今までの以上に、つながりの意味を問いかけるものになりそうです。「親しき中にも礼儀あり」というようにしようか。「YES」と語り続けたものから「NO」と突きつけられるものへ変貌する姿から何を讀み取っていくかという点です。このように言っていくと批判にしか受け取れないトランプ大統領ですが、きちんとしたビジョンは持っているようです。経営者としての才能を持つている彼は、ビジョンに向かう歩みを精一杯支え、逆行するものに力強く語りかけるという手法をもって政治の世界にチャレンジしています。新たな切り口でアメリカに変革をもたらそうとしています。これから日本にどのような出来事をもたらしていくのか注目していきたいと思えます。

私にとつても2017年はいろいろなことに目を注いでいけたらいいなと考えています。それは何といつても信者の皆さんのために何ができるのか考えていきながら生活をしていきたいです。今年も宜しくお願いいたします。

下五島地区 2017 合同堅信式

一月十五日(日)十一時より、ス
テンドグラスから注ぐ光に照らされ
て、下五島地区合同堅信式が福江教
会で行われた。全小教区合同での堅
信式になって今年で七年目。沢山の
信者の前で高見大司教様の司式にて
執り行われた。受堅者は総勢二一人。
福江教会からは中学生十一名・大人
一名が堅信の恵みを授かった。

大司教様は説教の中で、「罪とい
うのは、神様との絆を切るものであ



り、他の人との関係を失うものであ
ります。絆や関係を修復するお恵み
が洗礼の時に授かりました。そのゆ
るしのお恵みはそれだけではなく、
イエス様の愛も頂くことになるので
す。血縁を越えて、すべての人を家
族にして下さるその愛にならってい
かなければならない。堅信の恵みは、
洗礼の恵みを堅め強めるためのもの
です。神の子羊であるイエス様から
頂いたこのお恵みで、信じる心、自
分にとって信仰は大事であること、
その確信を持てるように、日々考え
いつもおられる神様にいつも感謝
し、神様の事をいつも考えなさい。
教会との繋がりを失わないように、
これから堅信が終わったからといっ
て離れるのではなく、教会と一緒に
祈ってほしい。堅信のお恵みが形だ
けにならないでほしい。今日のお
恵みを無駄に
しないでほし
い。」と話され
た。



堅信式の後
感謝式が行わ
れ、大司教様
へ楠原教会の
中学生から「改
めて多くの人
に支えられて
いる事を感じ

ています。
これからも
感謝の心を
忘れずに言
葉と行動で
キリストの
証し人とし
て生きるよ
うに努力し
ます。」と
力強い言葉
を聞くこと
が出来た。



また、福江教会の保護者から「今日
の大きな恵みを胸に無償の愛をそそ
がれるイエス様の教えを伝え、沢山
の恵みを願いながらこれからも見
守っていききたい。」と感謝の言葉が
述べられた。

【福江小教区受堅者】

- フランシスコ・ザビエル 入口孝仁
- カロロ 岩下 江太
- パウロ 小田 寛人
- ヨゼフ 中里 駿也
- ヨゼフィナ・マリア 切江ひなた
- テレジア 小畑紗月
- マリア 永尾 舞夏
- マリア 濱崎美紅
- アグネス 福島 菜緒
- マリア 宮本 麻実
- マリア 山口 京香
- カタリナ 永尾 奈美枝 (大人)

ご存じですか? 一菜募金



教会に置か
れている献金
箱や募金箱の
中で、写真の
募金箱を見か
けた方も多い
と思います。実はこの献金箱、常に置
いているわけではないんです。毎月
第一土日に置かれている募金箱:「一
菜募金」と書かれています。

一菜募金という名前の由来は、カ
トリック信者に伝統的に大切にされ
ていた金曜日の犠牲(小斎)にある
と言われています。小斎は肉類を食
べない事ですが、各自の判断で節制
や犠牲などを行うことでそれに代え
ることが出来るとしています。一菜
募金とは、食事の中でおかずを一品
減らして困っている人達の為の献金
としてささげる事です。

一菜募金で集められたお金は、カ
トリック長崎大司教区に送金されま
す。様々な目的で使われており、昨
年四月に発生した熊本地震の際にも
被災者支援として、福岡教区、大分
教区、カリタスジャパンの三ヶ所に
送金され、皆さんの犠牲が支援の形
で生かされています。

今後とも出来る範囲で、皆さんの
ご協力をお願いします。

小説「沈黙」を読んで

作家の遠藤周作氏の作品である「沈黙」が映画化され、日本でも公開され話題となっている。映画を観るだけの為に長崎に行くのが難しいと思い、まずは原作の小説「沈黙」を読んでみた（以下、簡単なあらすじの一部を記します、内容を知りたい方はご注意ください）。

本作は十七世紀キリシタン禁制下の日本における、史実をもとに作り上げた歴史小説である。ポルトガルの宣教師ロドリゴは、先輩の優秀な宣教師フェレイラが日本で拷問を受けたあげく棄教したとの情報を知り、その真偽を確かめるべく仲間の宣教師と共に日本への潜入を決意する。日本へ向かう途中のマカオで知り合った日本人、キチジローとともに長崎に上陸した。役人が度々取り締まりに来る厳しい環境の中、潜伏キリシタンの農民達と出会うが、キチジローの密告もありついに役人に捕らえられる。

長崎奉行の井上筑後守はロドリゴに対し「キリスト教は日本には無益だ」と言い、キリシタンの処刑とそれを助けようとして死んでいく仲間（棄教すれ）ばこの者達を助けられた」と

責め立てる。また、踏み絵を踏んで転んだはずの農民を拷問にかけ

（ロドリゴが）「転べば拷問をやめさせる」と棄教を迫った。ロドリゴはことあるごとに「神様は必ず助けて下さる」と救いを求め祈り続けるが、神は沈黙したままである。自身の信仰心のために他の人々が拷問を受けている事に苦しみ、葛藤し棄教の淵に追い込まれる。

本作では、エガミ、オオドマリ、ドウザキなど長崎や五島の耳なじみのある地名が多く使われているためか、リアリティを感じながら読み進めた。宣教師ロドリゴが、長崎奉行の残虐かつ巧みな戦術で肉体的、精神的に追い込まれて行く中で、自身の置かれている状況をイエス・キリストと重ね合わせたり、自分を裏切ったのにしつこくゆるしを請うて来るキチジローをユダにたとえて「許せない」と考えたりしている描写が印象的で、胸苦しい感覚を覚えた。

もとはキリシタンだったが臆病で心が弱く、親族を見捨てて棄教したり、役人に脅されてロドリゴを銀三百枚で売ってしまうキチジロー。読み進めるほどキチジローを非難する気持ちが無くなる自分自身がいした。同じ状況なら自分も棄教してし

まうだろう。多くの人の中に、キチジローはいるのだと感じた。

信仰とは？そもそも、外国からもたらされたキリスト教を日本人である自分は正しく理解しているのだろうか？など、頭の片隅に眠っていた疑問がわき起こされた。本作を読んだこれらの疑問の答えが全て解き明かされるわけではもちろんないが、今後も時々考えたり、興味をもってミサに寄るきっかけに出来たらと思う。

神学生来訪

十二月十一日（日）二番ミサに、長崎カトリック神学院の神学生が参加した。五島の教会巡礼に際し福江教会を訪れたもので中学生、高校生あわせて十四名であった。ミサ後に神学生主催の交流会が行われ、神学生の自己紹介と合唱が披露された。神学生の初々しくも力強い合唱に信徒全体が感動に包まれた。特に、シスター方のまるで我が子を見守るかのような眼差しで、合唱を聞き入る様子が印象的であった。また、福江教会出身の神学生である吉原祐則さんは交流会の司会を務めるなど中心的な役割をし、他の学生達からの信頼が厚い様子が伝わって来た。

宗教迫害という視点から見ると、決して昔の出来事ではなく現在も世界の各地で宗教対立を背景にした、テロによる破壊行為や虐殺が行われている。立場の違う両者が互いを尊重し、ゆるし合う心が育まれるようにと祈らなければと考えた。

様々な感想を抱かせた本作は、カトリック信者にとっても読み応えのある作品と感じた。機会があれば、映画も鑑賞したい。（N・H）

今回の

巡礼を引率した学院長の眞浦神父様は、ミサの説教にて「近年、神学生志願者は佐世保に集中してお



り、全体的に少なくなっている。』召命の道に進むことが犠牲と捉えられているのではないか。お恵みと捉えて欲しい。そこに信仰が芽生えるのです。皆さん、お恵みと捉えて、喜んで司祭、修道者となる人が増えるようにお祈り下さい。」と述べられた。

司祭団マラソン大会

1 月 31 日

(火) 堂崎
天主堂から
福江教会ま
で約 8 km を
神父様たち
が疾走する
司祭団マラ
ソンが行わ
れました。
ウォーキング



部門は浦頭教会からスタート。前年度は大雪中止となりましたが、今回は少し肌寒くもありましたがマラソン日和となりました。
沿道には特設の給水所も設置されて、たくさんさんの信徒・シスター・保育園の可愛いちびっこ応援団も結成されて声援をおくっていました。



コールフロイデ・

クリスマスコンサート

十二月二十五日

(日) 午後、福江教会にて混声合唱団コールフロイデによるクリスマスコンサートが開催された。クリスマスらしからぬ陽光のもと、大勢の観客で聖堂内が満たされた。コンサートは、教会のオルガンを伴奏にした『鷗(かもめ)』という曲に始まり、『群青』『長崎の鐘』などの曲が美しい歌声で披露された。



後半は『きよしこの夜』『あわてんぼうのサンタクロース』などのクリスマスソングで会場は大いに盛り上がった。降誕節の喜びを更に増してくれたコールフロイデに感謝しつつ、毎年の開催を期待しながらの鑑賞となった。

《寄付・香典返し》御礼

○白濱 光恵様

故カタリナ 白濱 ツル様

○佐々木 治様

故マリア 佐々木 イト様

右記の方々から、寄付及び香典返しとしてご芳志を賜りました。

ご報告申し上げますと共に、故人の永遠の安息を心からお祈り申し上げます。

◆年の黙想会について◆

講師：鈴木信一神父様

(聖パウロ修道会)

【午前の部】

3月27日(月)～29日(水)

いずれも9時から

【午後の部】

3月26日(日)～28日(火)

いずれも6時半から

※ゆるしの秘跡…

午前の部は、8時半～9時半とミサ後30分(水曜日ミサ後はなし)です。

午後の部は、6時半～7時と8時45分～9時30分(最終日はなし)です。



◆一月某日、中村・小島神父様と新年会を行いました(広報委員は仕事や病欠などで全員出席は叶いませんでしたが)。今年もがんばります!

編集後記

今年最初の広報誌「こころ」いかがでしたか。寒暖差が激しく体調を悪くされている方も多いのではないのでしょうか? 福江小教区では、今年も様々な出来事が予想されます。明るいニュースとしては、世界遺産の推薦が正式に決定しました。これを機に長崎や五島のカトリック信者の歴史が地元の方々にも知られ、興味を持ってもらえればいいなと思います。

また、一昨年に出版された教区シノドスの提言書に基づいた具体的な取り組みが、本格的に求められてきます。既に大司教様が教区報の中で家庭での祈りや、班単位での信徒の交流を呼びかけています。これまで以上に信徒同士のつながりが強いものとなるように(様々な困難が予想されますが…)出来ることから、一人一人が当事者意識を高める必要があると思います。その為に広報委員会がお役に立てれば幸いです。
本年もどうぞよろしくお祈りします。